

そ う ぜ ん じ 便 り

19世 俊諦和尚筆

第 143 号
令和 3 年 正月号
臨 濟 宗 宗 禪 寺
建 長 寺 派
住 職 高 井 和 正
閑 栖 和 尚 高 井 正 俊
羽 村 市 川 崎 2-8-20
TEL 042-554-1276
FAX 042-578-3525

川崎一本木堂薬師 疾病退散・厄災消除

節分追儺・新春祈禱法要

2月2日(火) 16時から

みんなで般若心経をお読みします

※今年の節分は天文の関係から124年ぶりに2月2日となります。この吉祥の節に一年の安寧をお祈り致します

● 十六時 御詠歌奉詠・節分祈禱法要

皆様で般若心経唱和

● 十六時半 薬師堂から豆まき ※子供たちの豆まき等は本年は行いません。

● 十六時〜十七時 ご来山いただいたお子様にお菓子のプレゼント。
大人には福豆贈呈。

○節分祈禱お札について

郵送にて先刻の通り、節分祈禱の新春お札のお申し込みを随時受け付けています。当日ご来山いただくと、儀式終了後にお渡しいたします。

劇団・水族館劇場より宗禅寺関係者の皆様へ

「新春野外劇・『さすらい姉妹』 上演のお知らせ」

下記の通り、水族館劇場の皆様が境内で路上芝居を上演致します。観覧無料、予約不要です。お立ち寄りください。雨天決行。

【日時】 1月3日 午後2時～午後3時

「さすらい姉妹 — みあげてごらん夜の星を —」

古の都と現代を行きつ戻りつ、浮世の無常をうたいあげる、笑い涙の人情劇です。路上芝居ですから木戸銭無料。楽しかったらお代は見てのお帰りにお気持ちを投げ銭で。



救世地藏遷座・石組み 椿の植樹・境内整備

— あつという間の三ヶ月で宿題が完了—

高井 正俊

永年、おとなり同志の仲の良いおつきあいをしていた雨倉水道屋さんが神明台にお引越しをされました。その跡地にセブンイレブンが出来るといいという噂話が耳に入りました。一昨年の暮れから昨年初頭の頃の話です。

寺の西隣の畑は、地元の檀家の雨倉利夫さん所有のものでした。昨年四月二十日、畑にトラクターを入れていた利夫さんと立ち話。セブンイレブンを誘致した不動産業者さんから借りてもよいと言われていたとのこと、私はとても慌てました。寺の隣の土地が知らない人を買われたら、何が建てられるか分からない、これは困った。思案している中、総代さんに相談したらお寺が買っても良いとの運びとなり、地主の雨倉利夫さんに直談判して、六月二日買い取りの契約をしました。

買い取りのあと、手始めに鈴木土建さんが整地工事をしてくれ、きれいな駐車場となりました。私自身もとりあえず新奥多摩街道沿いにお茶の木を植えました。昔ほどの家にもお茶の垣根があり、近所のおばさんたちがワイワイガヤガヤとお茶摘みをしていた光景が浮かんできます。また、禅寺にはお茶がつきものと思ったからです。しか

し毎日そこを眺めては、この後どうするかと考えていましたら、次々に考えが浮かんできました。

話しは十年程前に遡ります。羽村診療所の福島先生の奥様から、うちにあるたくさんのお庭石をもらってこれないかと打診がありました。その時は何に使うかも考えていなかったのですが、まあとりあえず南の駐車場にと、ずっとそこに置いておきましたが、景観的にはあまり良くもなく、せつかくいたいた石を放置したままとなっており、そのことが頭の片隅から離れずにどこかで気にしておりました。そうだが、あの庭石をこの新しい駐車場に活用しよう。実は駐車場内には赤道(羽村市市道)が通っており、分かりやすくこの赤道沿いに庭石を並べようと思ったのです。加えて、本堂の前にある山門建設記念(昭和四十九年)で建立された救世地藏尊を、それらの石組みの中心に遷座していただくと考えました。

元々境内の本堂前には地藏尊が二体もいらつしやう、どうにも紛らわしく、特に救世地藏様は本堂前の植え込みの中にひっそりといらつしやう、どうにも目立たず、もったいないと前から感じておりました。新しい駐車場にお移りしていただいて、新奥多摩街道を見渡して、往来する自動車や皆さんの安全を見守っていただけなら、どんなにか幸せであろうかと思つたのです。そのことを日頃から出入りしている星野造園の親方にお話ししてあります。

ところが、思わぬことが立て続けに起こってきました。道向かいの雨倉みよ子さん(ヤマサ)宅で、昔からあつた大石(八トン、

四トン、三トン)三つをお寺でもらつてくれなにかとのこと。これが九月頃のお話し。お地藏さんだけならまだしも、これほどの大石を扱えるのは、かつて銀杏の木の下にいらつしやうた厄除け地藏尊の遷座工事や、大石の移動工事をした大和園さんに頼むしかない。早速大和園の谷野会長に連絡をして、年内にやつて欲しいとお願いし、会長は快諾してくれました。

そうこうしているうちに、秋山米屋(秋山智弘家)さんでも、区画整理で庭石を処分するが、やはりお寺さんに引き取ってもらおうのが一番嬉しいとのこと。これまたすぐに、大和園さんの西島重役と見に行き、立派な庭石や踏石と判断、即座にお引き受けさせていただきました。十一月四日の雨倉さん宅の大石移動工事から始まり、段取り良く秋山さんの庭石移動工事と進みます。その折、秋山さんのお隣、中野祐司総代長宅からも、いい機会なのでうちの石も使ってくれと、これまた立派な庭石を三ついただけました。

工事は順調に進みますが、庭石寄贈のお話しはまだ終わりません。たまたま通りがかつた元総代長の犬野哲夫さんの奥様が、



うちでもおじいさんがいれた石をもらってくれませんかとおっしゃいます。乗りかかった舟で大和園の西島さんが早速検分に行つて下さり、大野哲夫さんからも石をいただくこととなりました。検分すると石の重さは七トンと、大変な大石です。その時点でペンインレブン裏の西の駐車場に、雨倉家、秋山家、中野家からいただいた庭石と、救世地蔵尊を据えることは決定していましたが、大野哲夫さんの大石をどうするか……。

私が咄嗟に思ったことは、遷座した救世地蔵尊のあった処、本堂前の植え込みに大野さんの大石を据えたらどうかということでした。大野さんの新市おじいさんは、総代長として先代の俊諦和尚を支え、戦後の寺の復興に多大なお力を發揮してくれた方だったので、本堂前に大野さんの石を据えられたら、どんなにいい供養になるかと、私は一人合点をしていました。大和園さんに相談してみると、ピツタリ入りますとの良いご返事をいただき、こんなに有り難いことはありません。



昔の羽村診療所の福島先生からの十数個の石は、大和園さんの発案にて竹林の参道の石組みとして活用されることになりました。今まではコンクリートでしたが、やはり自然の石のほうが環境に

馴染み、十年越しの想いが見事に解決致しました。加えて「ぼうたんに 佇てば 虚子の句 たかしの句」(中村ひさし)の句碑も、居心地の良い場所に移動をして、竹林の風情を一段と引き立ててくれています。

石組みの工事は十二月十日、大野哲夫家の七トンの大石が、はるか昔からそこにあったかのように本堂前の植え込みに収まったことでフィナーレを迎えました。救世地蔵尊の遷座も、お釈迦様が悟りを開いた十二月八日、お地蔵さんが台座にお座りになりました。大和園さんとお手伝いした秋島造園の皆さんにありがたく感謝申し上げます。石組みの中の植樹は、年明けた本年に行われます。皆さん楽しみにして下さい。

石組み工事の次第は以上の通りですが、もう二つありがたいことが起こりました。椿のことと寺駐車場などの境内整備工事です。

昨年から皆さんご存じの通り、寺に駐車場が増えました。この駐車場をどう活かしていったら良いかも課題の一つでした。殺風景な駐車場に、どんな木を植えて、花を植えたらいいか……。皆さん喜んでくれる花木は何か。そんなことを考えている最中に、檀家さんの娘さんの高崎洋子さんから椿の苗をたくさん卸している園芸屋さんがあることを紹介されました。実は私は椿が大好きで、以前から結構たくさん椿を境内に植えてきていました。竹林の奥側の椿の立派な垣根は私が修行時代、鎌倉の建長寺僧堂でさし木をして増やしたものです。もう五十年経っていることになりました。

椿の園芸屋さんを紹介されたことで、五十

年前の懐かしい思い出が蘇り、駐車場の周囲を椿で飾ろうと、すぐに武蔵境の船木園さんに飛んで行き、苗木を見ました。そしてその場で294株の椿を注文しました。294株は全て違う品種で、花が咲いた光景を想像するだけで胸がワクワクしてきます。

そこに星野造園の社長から、例の石を並べるのに鎌倉の建長寺出入りのミスミ建設さんの手助けを借りていいですかと、連絡が入ります。ふつてわいた大石組み工事を大和園さんに頼んだことを説明し、ミスミさん、星野さんには別の仕事をしてもらおうと考えました。

星野造園さん、ミスミ建設さんには南駐車場、北駐車場、禅センター、川崎会館前の由美と、椿を植える予定の場所に植え込みを造成してもらいました。ミスミ建設の目時社長は重機操作の達人、そして段取り名人。星野さんとミスミさんのタッグチームであつという間に植え込み工事が完了してしまいました。

また、ミスミさんは駐車場に放置されていた石を利用していただき、お薬師様の上り石と薬師堂側墓地の通路拡張工事をしてくださいました。

十一月七日夕刻、武蔵境の船木園さんご夫妻が、わざわざご自身で294株の椿の苗木と腐葉土を納品してくれました。

椿の植え込み作業は十一月八日の日に、高崎さんのお茶友達、坐禅会の有志の方々、総勢十九人で終日かけてすべてを植えていただきました。

この原稿を書いている最中、星野造園さんが、お寺の竹林の竹を使って、椿の植え込みの竹の垣根と、たくさん石でかわい

らしい石の垣根を作ってくれてい
ます。この植え込みに皆さんが山
野草をもちよって、植えてくれ
たいなど、勝手な絵図を描いて
います。

石組み工事、椿の植え込み、諸片
付け整備事業が、秋の三か月間
あつという間完成してしまいま
した。こういう事ができたことを
振り返ってみると、時の運、人の
縁、いろいろなことが重なり、
因縁が熟して課題であつた宗
禅寺景観大事業が完成しまし
た。おかげさまで寺の雰囲気
がたいへん良くなりました。
ありがとうございます。

戦後七十五年、宗禅寺の景観は
周囲の環境に合わせて大きく立
派に変容しました。それは、村の
人

墓地案内図が設置されました

東屋の井戸の脇に、宗禅寺境内墓地
の案内図が設置されました。お墓を
用されている方のお名前が入り、お参
りに来て下さった方が見つけやすいよ
うになったと思います。
す。もちろん、今迄
通りに、お参りし
たい方のお墓の場
所が分からない場
合は、お寺の玄関
にてお問合せ下さい。
今回の看板設置
は日頃出入りして



やおおくの檀信徒の皆様が、寺を支
えて下さったおかげです。昔から寺
にいる者は、仏飯をいただくとい
つて、ご本尊様やご先祖の仏さまのおか
げをいただいて、寺にすることができ
ます。信施の食(しんぜのじき)を受
くという言葉もあります。まさにお
かげさまで。このことを心に入れて
、これからの寺の諸活動を行って
いきます。皆様方も、寺に来る機会
を増やしていただき、共におかげさ
まの生活をしていきましょう。お
かげさまで私も七十五歳。和正住
職が葬儀や法事、寺の主要部分を
担っています。私は私流で寺の景
観維持や文化的な諸活動に取り
組んでいきます。今後どうぞよろ
しくお願いします。

いる石材業者、石善さんのお声
かけにより、宗禅寺関係業者様
同の御寄進にて製作して下さ
りました。墓地地区画の調査は
石善様、看板自体の製作は檀
家さんでもある、サイン工房大
野さん(大野治男社長)による
ものです。深く御礼申し上げます。
誠にありがとうございます。

【墓地案内図寄進業者様】

- ・石善様 羽村市
- ・佐々木石材様 瑞穂町
- ・島田屋様(葬儀・仏具) 福生市
- ・中森生花店様 福生市

【令和三年五月予定】

劇団・水族館劇場の公演が行われます。

水族館劇場野戦攻城「アントロポセンの虚空舟」(仮題)

宗禅寺裏駐車場にて、現代河原者の徒党である水族館劇場
が、野戦攻城と呼ぶ巨大な野外舞台を仮設、スペクタクル芝
居を上演します。乞うご期待。

■水族館劇場

1987年(昭和62年)結団。旗揚げ以来野外劇にこだわり、
団員自ら劇場を設営し各所で講演をし続けている劇団です。
※これまでの公演場所

- ・雑司ヶ谷鬼子母神境内(豊島区)・歌舞伎町花園神社境内(新宿区)
- ・駒込大観音境内(文京区)・太子堂八幡神社境内(世田谷区)

同封の般若札(はんじゃふだ)について

毎年お正月のそうぜんじ便りにお札を同封しています。般若札
といひます。

般若札は般若祈禱という法要の善力が込められているお札
で、お家の玄関に貼っていただくことで、魔除けの効果があると
云われている禅宗の祈禱札です。

大般若祈禱は通常正月に執り行うものですが、宗禅寺では正月
に皆様のお手元に届くように年末に檀信徒一同皆様の無病息災
を祈念して行っています。

昨年までの古いお札はお寺にご持参いただければ、お預かりし、
お焚き上げを致します。

玄関に般若札を貼っていただき、一年の安寧をお祈り致します。



土曜講座

薬師堂コロナ追悼・退散祈願法要

昨年十月三日にお薬師様の法要を行いました。例年、薬師大祭として、様々な奉納演舞や薬師講の皆様による手作り屋台で境内が賑わう日でしたが、コロナによって規模を縮小して執り行いました。

薬師堂にて追悼・疾病退散祈願の法要と、本堂内にて百万遍の数珠回しを行いました。数珠回しは、みんなで大きな数珠を持ち、お薬師様の真言「オン コロコロ センダリ マトウギ ソワカ」をお唱えしながら行います。みんなの息が合わないと、上手に数珠を回すことができないのですが、皆さん

楽しく行いました。

法要後には菊地玉雲さんの講談「川崎薬師堂縁起」(オリジナル作品)が初披露され、羽村の文化財となっている薬師堂建立の際の伝承が語られるとともに、地元の田村しおりさんのヴィオラ演奏が物故者追悼の音色を奏でて下さいました。

薬師堂はお寺の境内にありますが、地域の貴重な財産として皆様のお力でご守護していくのが理想でもあります。

また賑やかなお祭りが開催できることをお祈りしています。



御詠歌は薬師堂前で奉詠されました



田村しおりさんのヴィオラ演奏。物故者追悼の意味も込めて。



薬師堂があまり広くないため、百万遍の数珠回しは本堂で広々行いました。

第二十二回 春の文化展の開催について

三月十九日(金)〜二十一日(日)三日間予定

師走に入り、コロナ陽性者がいよいよ増え、飲食店の営業自粛要請も入りました。コロナとの付き合い合いもそろそろ一年を迎えます。宗禅寺でも日頃から執り行っている月行事や年中行事をどうするのか、その都度、慎重に判断をしていくこととなります。

昨春に延期とさせて頂いていた春の文化展についても、まず十二月の寺子屋委員会にて協議を致しました。

文化展は出品して下さる方々のご協力があつて初めて成立する行事です。あくまでもご協力なので、こちらからお願ひすることはできません。強制するわけにはいきません。

今回の文化展も開催する方向で考え、情勢によっては中止させて頂いたことも選択肢の中に入れながら準備を進めていくことになりました。

二月中には出品代表者の皆様に郵送にてご連絡とご参加の是非を確認させて頂いたが、最終的には三月の頭頃に開催の是非を判断すること致しました。

詳細は春のお彼岸号にてお伝え致します。

文庫長だより

島田 秀男

天保八年(一八三七)「福井の町を餓死者を運ぶ大八車がひっそりと通っていったが、天然痘で死亡した者を運ぶ大八車は、運ぶ者たちが感染を恐れて一刻も早く死体を捨てる場所へ急ぐため、騒々しい音をあげて町の中を過ぎる。町の者たちも、それらの大八車の走る音が近づくと、恐怖にかられて家の中にとびこみ、戸をとざした。『路上に人影はなく、わずかにきこえてくるのは、家の中でとなえる厄病よけの念仏の声だけであった。』天然痘ワクチンの普及に尽くした福井の町医、笠原良策の生涯を描いた吉村昭の小説『雪の花』の冒頭部分です。

天然痘(コレラ)は我が国では「疱瘡」といわれて、奈良時代から明治初期までに何度も流行した病気です。疱瘡は、伝染力が強く致死率が高く恐れられていましたが、一度かかると免疫ができて再び発病しませんでした。

江戸時代のコレラの流行は、文政五年(一八二二)と安政五年(一八五八)に大流行しました。安政五年では、江戸だけで死者が一〇万人に達したといわれています。多摩地域においてコレラがどのように猛威を振るっていたかを残された記録から見えます。

柴崎村(立川市)の名主、鈴木平九郎が著した『公私日記』に天保九年(一八三八)五月、村を挙げて千垢離(川水などにひたつて身を清める。)や百万遍(大数珠を回しながら

念仏を唱える。)などの疫病除け行っています。天保一二年(一八四〇)七月、こどもが疱瘡にかかり、医者に診察してもらうが、処置のしようがないと見放されたことなどが書かれています。

中藤村(武蔵村山市)の神職で陰陽師であった指田藤詮の『指田日記』にも天保七年(一八三六)以降疱瘡にかかり多くの子どもたちが死亡したと記録されています。発生した家では、疱瘡棚を飾り、ささ湯(湯ながし)千垢離や山口観音への千度参りを行っていました。安政五年の日記には、「七月下旬より江戸、暴瀉病はやりて、江戸中死するもの十万余の由、国々在々死するもの数知れず、此の節、井の水黒く濁る、(中略)此の病たるや、気絶して即死するものあり」とコレラの恐ろしさを指田は述べています。

種痘(天然痘の予防接種)は、一七九六年イギリスの医師が安全な牛痘接種法を発見し、以来、世界に広まりました。日本に導入されたのは、嘉永二年(一八四九)長崎のオランダ商館の医師によつて種痘が持ち込まれ普及しました。嘉永三年(一八五〇)、多摩地方の代官、江川太郎左衛門は蘭方医伊東玄林に頼み、自分の子どもに接種し実例を示しました。続いて八王子、檜原村、青梅村の子どもたちに接種し良好であったことから多摩地域に種痘が広がりました。

川崎村の状況は、どのようになっていたのでしょうか。宗禅寺の過去帳から江戸時代後期、子どもの死亡者数が十人以上あった年を調べてみますと、享和二年(一八〇

二)一四人、文化三年(一八〇六)一二人、文化一四年(一八一七)一人、文政三年(一八二〇)一三人、文政六年(一八二三)一五人、天保元年(一八三〇)一五人、天保六年(一八三五)一三人、天保一四年(一八四三)三一人、文久二年(一八六二)一五人となっています。過去帳には死亡原因は記載されていませんが、全国的な疫病の流行からほぼ疱瘡であったと思います。天保一四年の三一人は、村全体の死亡者数が三八人でしたから、疱瘡が猛威を振るっていた時期です。

宗禅寺境内に「疫病除けの地藏」があります。今は山門の横に新しく移設されていますが、本堂前のイチヨウの木の下にありました。建立されたのは、第一五世殿州和尚の代、嘉永五年(一八五二)七月二十四日です。このお地藏様には、一字一石の経文が書かれた小石が埋められています。移転のときに、その小石を取り出し文字を確認しましたが、「真実」「経」「苦」「天」「葉」などの文字を読み取ることができる程度で、ほとんどの文字は経年劣化で消えていました。しかし、一つ一つの石に書かれた文字には、村人の疫病退散の強い祈りが込められていたに違いありません。

コロナ禍の中、出口はなかなか見えませんが、疫病は永続きしないことを歴史は教えてくれます。

《参考図書》

『多摩のあゆみ第一〇五号 特集幕末・近代の医師たち』。

正俊閑栖未成日記

コロナの嵐は、まだおさまりそうにありません。早くワクチンが登場し、安心できる日を待ち望んでいます。それでも、寺では葬儀も法要も。毎月の活動は、注意しながら行っています。今年の秋も、結構忙しかったです。

〈九月〉体重六十キロ代続く

○朝三時起床 八時半の朝食まで毎日、ほぼ同じ生活。夕方はウォーキング。土曜講座十二月まで準備完了。 9/1

○『日本開国と多摩』藤田寛、読了9/2
○相変わらず、庫裏の片付、中廊下9/3
○今日から寺務室の片付。

○朝粥坐禅会 九人でやる。寺務室片付け、順調に進む。薬師講の会議。9/6
○福生駅「岡野美蒼展」見学。 9/9

○写経の会十五人。健康体操十人 9/11
○「宗禅寺便り」発送1300通 9/16
○大船塩之内内科検査結果聞く。 9/17

○彼岸に入る。早朝坐禅、イス坐禅から右ひざの痛さをこらえて通常の坐禅にもどす。東屋に線香を置く。線香ご自由にご使用ください。 9/19

○朝粥坐禅会五人。写経の会に十五人の参加。寺の日常戻る。寺務室和正和尚専用に使います。私は二階奥の小部屋9/21

○収集した香炉を陳列棚に収容。硯も見るように配置。書院ととのう。 9/23

○フレディみか子『ぼくはイエローでホワイトでちよっとブルー』読了。 9/24

○お彼岸に来山された方は二千人になりました。コロナもありますが、皆さんのご先祖に対する思いの篤さに感服。9/25
○今日から、朝の一人坐禅(三十分)を始める。禅定を深める。 9/26

○黒田(山田)知未さんの出産祝いに赤坂へ。淑子さんと。新宿伊勢丹で小笠原加純展を見る。 9/28

○京都・禅文化研究所へ役員会。午前中建仁寺で泰巖老師に相見。 9/29
○寺子屋委員会勉強会。十人全員出席。 9/30

●九月の来山者は2600人で、なんと例年より増えていました。びっくり。
○横田南嶺『十牛図に学ぶ』読了。八月九月で横田老師の本、十冊読了。淑子・綾子・ルリ・カノ揃って立川へ。 10/1

○お薬師様の法要 今年は総代・薬師講役員・土曜講座参加者で行う。屋台ナシ。法要後、本堂で菊地玉雲さんの講談「一本木薬師堂縁起」(初披露)に耳を傾ける。田村しおりさんのコロナ追悼のヴィオラ演奏も。しみじみとしたい法要になりました。後斎は関係者のみで私の手作りの建長汁と、鎌倉鉢の木の特製弁当をいただきました。久しぶりに皆さん笑顔に接することが出来ました。 10/3

○雨倉みよ子さん(ヤマサ)宅の大石三つ大和園さんが西駐車場へ仮置き。 10/4
○西駐車場赤道の件でいろいろ。 10/6

○梅林棟梁、親子で奥倉庫片付。 10/8
○高村薫『時代へ、世界へ、理想へ』と松岡正剛『日本文化で核心』を、毎月少し

ずつ読んでいる。啓発される。

○大和園(佐藤・西島)西駐車石組と本堂前地藏尊遷座の件で相談。 10/9

○鎌倉塾の方々ホテルメトロポリタンで朝食会議。塩之内内科で定期検査。前日は大仏様でたらネット十周年。オンラインイベント。 10/11・12

○鎌倉禅研究会再開。芳澤元・橋本素子先生。建長寺積極的に対応して下さる。夜は鎌倉塾メンバー六人と長尾宗務総長を囲んで、建長寺未来会議。 10/15

○和正和尚、葬儀で外出。久しぶりに法事を四件させていただく。 10/18

○孫の瑠理花・花音の七五三。寺で法要、祝宴。谷中の祖父母、宮下兄妹などにぎやかに。ありがたいこと。 10/19

○夕方、福生馬話眼科へ。眼、落ち着いているとのこと。馬淵先生とは十六年に渡るおつきあい。院長が息子さんに交代しました。おかげさまで。 10/21

○立川普濟寺のご母堂の弔問に 10/22
○高崎洋子さんの紹介で、武蔵境・船木園へ。椿苗294本注文。帰りに、母校の様子を見に。すっかり変化。 10/24

○倉庫にあった大量のゴザを外に。 10/25
○建長寺のご縁でミスミ工務店、寺の仕事にきて下さる。六日間で、南駐車場の石片付け、薬師堂墓地の歩道拡張、椿植えのための薬師堂裏・南・北・禅センターの各駐車場に植え込み整備、客殿車側・新墓地の松の下、などなど大掃除、大整備をして下さる。おかげさまで永年出来なかつたことが一挙に解決。周辺が超綺麗に。ありがとうございます。

○高村薫『時代へ、世界へ、理想へ』と松岡正剛『日本文化で核心』を、毎月少しずつ読んでいる。啓発される。

●十月の来山者は928人。昨年は2250人でした。お薬師様の大祭ができなかったからです。

〈十一月〉体重60キロ台。

○一日の日曜で朝粥坐禅会十六人。終了後、本堂の戸障子を冬用に入れ替え。いつもながら大助かりです。写経の会十一人。

○本堂前救世地藏尊移設諷経。総代さん、大和園工事関係者で。続いて天気が良いので、外で総代会議(境内整備の事、節分の事、麦鉢の事。宗教法規則変更の事、代表役員変更の事、来年五月の水族館劇場野外劇の事、など)原案通り承認。

○大和園 竹林石組み垣始める。 11/4

○西駐車場、石組み工事始まる(大和園谷野会長陣頭指揮、佐藤・西島・秋島造園社長、他多数)。雨倉利夫さん茶畑使用OK。船木園ご夫妻椿苗木、腐葉土を自ら運んできてくれる。 11/7

○各駐車場五ヶ所に294本の椿の苗木植え、高崎さんのお茶友達、坐禅会の方、総勢十九人。九時から十六時過ぎ頃まで。お昼はおにぎりと建長汁。多謝

○宗禅寺子屋教室十三名で新潟県柏崎市高柳町の史跡庭園「貞観園」の視察旅行。あいにくの雪、雨、曇。晴の日湯沢町保よしでお昼。久しぶりのバス旅行。皆さん是非行って下さい。 11/10

○建長寺で鎌倉禅研究会。講師は白川宗源、橋本素子先生。四十人参加。 11/12

○明星大学のオンライン授業。日本文化と各論の打ち合わせ。和正和尚が禅とその実践、私が「寺ってなーに」を担当。 11/13

○宗禅寺土曜講座 和正和尚、中村正人さん、鹿野川喜代美さん。老人介護、新聞から学ぶ、今日も盛況五十人 11/14

○高崎洋子さん、新井洋子さん達、椿の水やりにはしばしば来て下さる。

○明星大学オンライン授業 和正和尚が禅の来た道と坐禅の指導。 11/16

○鎌倉へ 浄智寺さん御母堂弔問。十時建長寺と鎌倉塾で、建長寺や鎌倉をどう深化させていくかの初懇談会。浄智寺宝庵で島津佳代子さんのお話。メトロポリタン泊。翌日、塩之内内科へ。検査結果を聞く。まあまあか。 11/18・19

○朝の坐禅メモを書き出す 11/22

○西駐車場、石組み工事連続。今日は秋山家より大石移動。中野祐司総代宅の石も運ぶことになる。大野哲夫さん宅の大石(七トン)も。嬉しい悲鳴。 11/22

○明星大学オンライン授業。寺と僧の歴史。お寺のしていること。 11/23

○大和園、竹林石組み完成。椿の水やり結構大変。でも、やらねば。 11/24

○お隣の中野久子さんから「一輪車山盛り」に赤と黄の千両を頂戴する。びっくり仰天。早速株分け移植。 11/26

○高崎洋子さん一家、南駐車場植え込みに、シヤクヤク、シラン植えに来て下さる。ありがたし。一緒に植える 11/29

○鎌倉禅研究会の来年の予定を作り出す。土曜講座も。横田南嶺老師快諾。 11/30

●十一月の来山者は899人。昨年の半数でした。コロナ効果？

〈十二月〉体重59キロ台が出だす。

○今年の各会交流の冬夜忘年会は、やむを得ず中止になることに決定。残念。

○麦鉢あため維持費のお願い文書を檀家さんに発送950通。 12/1

○丸大の大野哲夫さん宅に、大石を見に行く。澄子さんより多額のご喜捨を頂戴する。お地藏様の移設費に。 12/3

○宗禅寺、土曜講座、成道会講座とする。般若心経50人で唱和。ご詠歌奉詠。和正和尚「日本仏教史」。正俊「成道会」金井国俊先生「武蔵御嶽神社の事」。寒い中三十人を超える方。 12/5

○朝粥坐禅会 真つ暗な中十二人。坐禅、粥後、清々しい銀杏の黄葉。 12/6

○鎌倉建長寺で成道会―お釈迦様の悟り―三門・法堂・三門でお話。鎌倉塾のメンバーと建長寺の方々と、塔頭の廃跡探索。山深く険しく大変。夕方、塩之内内科、定期検査。多様な一日。 12/8

○宗禅寺・寺子屋委員会勉強会 12/9

○建長寺・鎌倉禅研究会。彭丹先生、采澤良晃先生。その前に栄共済病院でCTを撮る。異常なし。 12/10

○宗禅寺「新聞サロン」禅センター 12/12

○鎌倉塾忘年会議。大船千里で 12/15

○健康教室の方々、本堂ガラスふき 12/18

○護持会薬師講歳末掃除。うどん教室。 12/19

○地藏尊・石組み完了諷経。総代・石奉納者・工事関係者 12/22

○禅センター「新聞サロン」 12/26

○除夜鐘 今年も多種多用多忙 12/31

和正和尚日單

○東小学校 三年生の子供たちに消防団で授業。子供たちが校庭で実際に消防車に乗車。消防団について学ぶことがカリキュラムに入ったみたいです。秋山分団長以下四名で。 9/3

○朝粥坐禅会 坐禅とお粥 9/6

○薬師講役員会 十月のコロナ退散法要の開催について薬師講の皆様が協議。 9/6

○健診 横田医院さんで健診。尿酸値ギリギリ。悪玉コレステロール多く、善玉少し。 9/7

○消防 一班手入れ。防災訓練当日の準備。 9/12

○葬儀 久しぶりに通夜振る舞い・壇払いと通常時の葬儀が行われました。 9/9・10

○防災訓練 今回は、管内広報と避難所視察のみ。避難所では段ボールでの仕切りを作っていたようです。コロナ禍での災害避難。 9/12

○幼稚園運動会 神明台グラウンドで運動会。かけっこ、デカパン競争、組体操と年長さんは参加種目も多い。デカパンは親子で参加。 9/13

○四十一歳になる。妻とささやかにお祝い。 9/16

○彼岸早朝坐禅会 彼岸中一週間毎朝。気持ちのよい季節。 9/19〜25

○土曜講座 近くの永昌院様とカイコローグの皆様の養蚕にまつわるお話しと、鹿野川喜代美さんのエネルギーシユな新聞講座のお話し。禅センターで新聞講座始まります。私は神仏習合の始まりとして、神社の神様についてお話ししました。 9/26

○寺子屋委員会 続島田松市さんの多摩川の文献をみんなで読みました。島田松市さんの文献はここで終わり。 9/30

○井上篤太郎さん葬儀 一峰院さんに呼ばれ、前羽村市市長の井上篤太郎さんの葬儀にて読経。 10/3

○土曜講座・薬師コロナ追悼退散祈願法要 お薬師様で毎年のお勤め。今年はコロナ退散祈願。百万遍の数珠回しは本堂で。薬師講の皆様は毎年屋台でお忙しく、なかなか儀式に参加できないのですが、今年はしっかり参加できました。 10/3

○朝粥坐禅会 だんだんと朝の冷え込みを感じます。 10/4

○都内で妻の誕生日を祝う 10/6

○大和園さん来山 本堂前のお地藏さん遷座とご寄贈いただく庭石の下見に大和園さんが来山。 10/9

○消防 担当班の手入れ。動物園駐車場で水出し訓練。 10/15

○書道教室 毎月の書道のお稽古。御朱印のブームもあり、字が下手な私は練習あるのみ。十年後に期待 10/16

○七五三 一年早い娘たちの七五三を行う。谷中の両親も。 10/19

○普濟寺 立川普濟寺のご母堂様の通夜に正俊和尚と。コロナもあるため、通夜前に焼香して帰る。 10/22

○西東京臨済会 雨間・地藏院にて久しぶりの幹事会。歳末の托鉢をどうするか協議。 10/27

○消防 分団の備品を点検。 10/30

○朝粥坐禅会 遅まきながら、本堂の襖を夏用から冬用へ模様替え。いつも坐禅会の皆様がして下さっています。 11/1

○本山法話大会 「こんな時代だから…禅とは」というテーマで皆が法話。一人十五分。「生死岸頭に立つ」で話したが、あまり良くなかった 11/3

○総代会 麦鉢と地藏尊の遷座等について、総代さんに報告と協議。 11/4

○大和園 雨倉さん秋山さん宅より庭石をいただく作業に入る。 11/4

○幼稚園 スポーツ大会。親御さんも参加してみんなでドッジボールとリレー。大人組対子供組。 11/6

○消防 都営神明台町内会の防災訓練へ。消火器とAED。 11/8

○椿植樹 高崎洋子さんと茶道のお仲間、坐禅会有志の皆様で294本植樹。お昼は坐禅会手作りおにぎり。 11/8

○三芳町・多福寺 母の郷のお寺で祖父文雄和尚五十回忌、祖母柳澤みや子さん二十七回忌。前日夕刻には曾祖母千代子さん三十三回忌も。九日は羽村禅林寺さんと新町東禅寺さんも参列。寺社巡りで訪れたいお寺 11/8〜9

○寺子屋委員会 委員の皆様と新潟柏崎の名勝庭園「貞観園」を訪問。正俊和尚が評議員を務めているご縁です。昼食は越後湯沢で。越後の紅葉を味わいました。 11/10

○オンライン授業 明星大学人文学部日本文化学科の一年生の皆様に特別授業を行うことに。全一回。芳澤元准教授が正俊和

- 尚に依頼し、私が一コマ担当することになりました。この日はオンラインにて先生とお顔を合わせ、打ち合わせ。 11/13
- 土曜講座 神明園の中村正人さんと日本酒「はむら」の清水亮一さんのお話し。私は神仏習合の二回目 11/14
- オンライン授業 明星大学の日本文化学科の一年生の皆様に禅について九十分の特別授業。禅の教えについてのお話しと坐禅の実習。 11/16
- ルリカノ 東小にて入学前の健診。初めて小学校に歩いて行きました。 11/16
- オンライン授業 この日は正俊和尚が講義。全二回の特別授業。 11/23
- 布教師会 建長寺で布教師会の会議と研修勉強会。来年度の土曜法話担当者決定。法話大会等行事日程等確認。研修は高橋慎一朗先生の「蘭溪道隆と北条時頼」について。 11/27
- 保護司会 ゆとろぎで羽村分区の会議。例年は会議後に忘年会らしいが、今年は当然ナシ。 12/2
- 土曜講座 お釈迦様のお悟りを讀んで成道会。武蔵御嶽神社のお話しと正俊和尚釋迦のお話し。私は末法思想と浄土。 12/5
- 寺子屋委員会 中野喜一さんの昔のコラムと雨倉久次郎さんの「寺院明細書」、故雨倉俊雄家から出てきた、蚕影神社の掛け軸。 12/9
- 書道教室 和尚による和尚のための書道教室。毎月一回。年内終了。一月には書初め。 12/10
- 幼稚園 幼稚園で餅つき。今年は保護者の参加は無しということで、子供たちが

- おいしくお餅を食べたはずです。 12/11
- 西東京臨済会 雨間地藏院で幹事会。忘年会も中止。新年総会も中止。 12/17
- 本堂ガラス拭き掃除 健康体操のメンバーの皆様が、会場の御札にいつもお掃除を下しています。大変有難いです。 12/18
- 護持会清掃 護持会と薬師講の皆様による年末境内清掃。落ち葉たくさん。除夜の準備も。 12/19
- 坐禅研修 羽村・福生のガールスカウトの子供たちが宗禅寺で坐禅体験 12/20
- 墓参 実家の祖父母のお墓に年末の墓参。昔の写真は何枚かいただく。 12/28
- 消防 歳末の警戒 12/27・31
- 除夜の鐘 コロナ進むなか、除夜の鐘。清水亮一さんからいただいた日本酒「はむら」の酒粕でつくった甘酒。コロナは来年も正念場。一つ一つ冷静に考えて実行するしかありません。 12/31

宗禅寺観音募金

(令和2年6月16日～令和2年11月30日)

皆様からの募金、お資金をこのように使っています。ご協力ありがとうございます。

前回繰越	10,875円
取入	87,404円
支出	80,000円

内訳	20,000円	羽村市社会福祉協議会
	20,000円	あしなが東日本大震災遺児支援募金
	20,000円	新型コロナウイルス対策医療支援寄附金
	20,000円	西東京臨済会災害支援部

繰越 29,325円

宗禅寺俳句会 法文理聡居士位 中野理さん追悼句

昨年十月七日、宗禅寺俳句会の中野理さんがお亡くなりになりました。理さんは正俊和尚とは羽村中学・都立武蔵高校の一年先輩でご縁が深く、宗禅寺の俳句会においても、春の文化展など俳句会を代表して活動をして下さっておりました。ご承知の通りの社会情勢でありましたので、近親の皆様にもみ付き添われ、永年過ごしたふるさと川崎からご出発をされました。

ここに俳句会皆様を追悼句を掲載させていただきます、故人様のありし日のお姿を偲ばせていただくとともに、生前お世話になった感謝の意を表します。

宗禅寺俳句会 追悼句

- ◆これよりの 句座を淋しと 思ふ秋 中野つたえ
- ◆旅立ちを 術無く送る 秋悲し 田村 章
- ◆晩秋や 名句残して 友は逝く 中野 満子
- ◆天空へ 別れも言えず 秋句会 雨倉みよ子
- ◆抒情の句 懐かし寂し 冬の午後 島田 実
- ◆亡き人を 待つか今年も 柿実る 島田 陽子
- ◆筆ふるう 祭りの笑顔 惚ぶ月 平井 敏正
- ◆友の遺句 揃へ夜長を ひとり酌む 中野 良一

土曜講座のお知らせ

檀家さんにとらわれず、どなたでも勉強できます。予約不要、お茶代三〇〇円。コロナに万全対策しています。

◆第五十回 一月三十日(主)十三時〜十六時 仏教講座 ―日本仏教史 その10―法然上人 住職 高井和正

◆羽村周辺の野鳥 日本野鳥の会羽村支部 羽村俊夫さん他

◆羽村の観光 羽村観光協会事務局長 田中繁生さん

◆第五十一回 一月十三日(主)十六時〜十八時 『涅槃会法要』(釈尊ご命日) 全員で般若心経・ご詠歌奉詠

◆仏教講座 ―日本仏教史 その11―親鸞聖人 住職 高井和正

◆お釈迦様の涅槃図のお絵解き 長野市長谷寺の奥様 岡澤恭子先生

◆羽村ルーテル教会のこと 羽村ルーテル教会前任牧師 高井保雄師

◆第五十二回 三月十三日(主)十三時〜十六時 仏教講座 ―日本仏教史 その12―遍上人 住職 高井和正

◆時代劇映画を語る 映画監督 秋原北胤さん

◆水族館劇場とは！ 水族館劇場主宰 桃山 邑さん

◆鎌倉禅研究会のお知らせ

正俊閑栖住職の鎌倉建長寺での公開勉強会です。お出かけ下さい。入山料、資料代共に五百円です。予約はいりません。

◆第百六十六回 一月十八日(主)十三時〜十六時半 禅の語録を読む 駒澤大学 小川 隆教授

◆今『天台小止観』に学ぶ 円覚寺派管長・花園大学総長

◆第百六十七回 二月二十五日(主)十三時〜十六時半 江戸時代建長寺の

◆「寶壽院七世虞虚翁真前堂」 建長寺部員・龍峰院副住職

◆坐禅の説明と実践 ―イス坐禅もあります― 建長寺教学部長・源正寺住職 永井宗明和尚

◆北条時頼と鉢の木伝説 建長寺派宗務総長・願成寺住職 長尾宏道和尚

◆第百六十八回 三月十一日(主)十三時〜十六時半 建長寺第二世元庵普寧の語録を読む

◆法政大学講師 建長寺研究員 彭 丹先生

◆栄西の「興禅護国論」の禅 元金沢文庫長 高橋秀榮先生

建物境内維持費(麦鉢)中間報告

昨秋に維持管理費納入のお願いの便りを皆様に郵送させていただきました。おかげさまで多くの皆様からのご喜捨をお預かりすることができています。御協力誠にありがとうございます。建物境内維持費 四七二軒より

総額 百八十四万四千圓也

令和二年十二月十九日現在

宗禅寺毎月の活動

―お寺で新たな自分の発見を―

- 朝粥坐禅会.....毎月第一日曜日 朝6時〜8時半 一日の始まりに坐禅。禅の食事の作法でお粥をいただきます 1/10 2/7 3/7 4/4
●土曜坐禅会.....毎週土曜日 子供:18時〜19時 大人:19時半〜20時半 1月は9日より。静かに坐ると心が安定します。イス坐禅もあります。
●土曜講座.....毎月一回の勉強会。13時〜16時 地域文化の共有と創造を目指し、地域伝統を後世に。
●写経会.....毎月1日、11日、21日、13時〜15時 般若心経の写経をしています。支度、片付けは全員で。自分のペースで一文字一文字丁寧に。 1月は11日より。
●御詠歌.....毎月第1・3火曜日 1時半〜3時 指導:高井淑子
●手打うどん教室.....現在2クラス開講中。月一回。講師:島田辰夫先生
○木彫教室.....毎月第1・第3土曜日 13時〜16時まで 講師:新井達矢先生 見学できます仏像や能面を自分で彫ってみませんか? 月謝5000円(道具、材料費は要別途) 新井達矢先生ブログ:https://ameblo.jp/tapazya-1982/
○俳句教室.....毎月1回、適宜。問い合わせ先:中野つたえ ☎554-2444
○尺八吹禅の会.....毎月第1、第3月曜 夜7時半〜9時頃 坐禅15分、練習60分、問い合わせ:坂井陵童 ☎554-3273
○介護予防体操.....健康体操の集いです。直接、禅センターにお越し下さい 毎週金曜日14時〜16時 予約不要
○お寺de.....タロットによる心理セラピーです
○こころの相談 毎週日曜日13時〜18時 要予約 090-6792-4784 ハムサまで。
○新聞サロン.....毎月第2、第4土曜日13時〜14時 新聞を楽しみ読んで世界を広げよう。活字から読む力、お子様の参加大歓迎です。 要予約 090-6549-0751 講師:鹿野川喜代美さん ☎554-7343まで
●女性サンガの会・薬師講・寺子屋委員会・護持会 ―活動中です―
○宗禅寺禅センターをお使い下さい。
■各教室の会場:●は宗禅寺 ○は禅センターです